

大久野島ビジターセンター便り

Vol.54 (H23.7.24)

いよいよ夏休みに入りましたね。島は、海水浴やプール、キャンプなどを楽しむかたが、たくさん来島されています。夏本番をむかえて、水着姿の子供たちを見ると、夏が来たな〜と毎年思うのですが、今年の夏はいつもと違い、あちこちで植物たちが枯れかかっています…一体どうしてなのでしょう？

実はつい先日の台風の影響で、島の植物たちが「塩害」にあってしまったからです。(塩をかぶると、葉がかれ、2,3日で葉っぱが茶色くなって、落ちてしまいます。)

夏らしくない風景を見て、残念がる方がいらっしゃるかもしれませんが、台風直後の動植物たちの様子を観察すると、また違った見方が出来るかもしれませんね！

今回は、みなさんに 台風直後の大久野島の動植物の様子を 紹介させていただきます。

台風後の様子



①アカマツ



②6月生まれのコウサギ



③フウ



④アメリカスズカケノキ

【台風後の大久野島風景(2011.7.23)】

☆ビジターセンターが建っている島の南側や西側の方角から風が吹いたようです。

①まっすぐにのびていた枝先が、まがっています。写真の右(島の南側)から左へ風が通りぬけたことがわかります。

②穴や山奥にはいって、台風が通り過ぎるのを待ったのですね。元気いっぱいです。

③海水がかかったところまでは、葉が茶色く枯れています。(塩害)

④やわらかい木なので枝がたくさん落ちました。黄色くなっている葉はやがて枯れ落ちます。

参加者募集

瀬戸内海の自然・歴史・文化を訪ねるエコツアーを大久野島ビジターセンター、休暇村 大久野島主催の行事として実施いたします。第15回目の今回は、瀬戸内海国立公園内でのクルージング体験とアマモ場でのすき網体験(尾道市瀬戸田町 高根島)を行います。

クルージング体験では、生口島を一周しながら、多島海景観美や古い港町、みかん畑などの風景を船上から眺めます。同時に、周辺の海の環境についても解説させていただき、スナメリや魚が減った原因などを考えたいと思います。

高根島では、海のめぐみを味わいながら地元の自然や文化を知ってもらおうという目的で、環境教育活動をされている、中田雄三さん、佳子さんと一緒に、つき網体験を行います。アマモ場で、昔の漁法の「つき網」をしながら、どんな生き物がアマモ場で暮らしているかを見たり触ったりして学びます。また、実際に食べる体験を通じて、瀬戸内海の自然や文化を知っていただきたいと思います。

さまざまな体験を通じて、瀬戸内海の自然や文化を守るためにはどうすればよいのかを一緒に考えましょう！



日時	平成 23年 8月28日(日) 10:00～ 18:30
集合場所	9時30分 広島県竹原市忠海町 忠海港 第一駐車場空き地内
参加費	大人1000円 小、中学生 500円
対象者	小学生以上(小学生は保護者同伴)

行程(予定)	9:30	受付開始
	10:00	忠海港発 クルージング体験(90分)
	11:30	瀬戸田港着 マイクロ移動
	12:00	昼食(40分)
	～	いきもの観察オリエンテーション
	14:00	貝の採集(30分程度)、移動
	15:10	つき網体験 ※アマモ場の生き物採集と観察
	17:00	着替え, 試食
	18:00	瀬戸田港 発
	18:30	忠海港着, 解散

申込み 大久野島ビジターセンターまでお問い合わせください
(先着順で受付をさせていただきます)

大久野島ビジターセンター便り vol.54 H23.7.24 発行
発行・編集：大久野島ビジターセンター
〒729-2311 広島県竹原市忠海町大久野島
電話・FAX：(0846) 26-0100
開館：9:00～16:00 休館日：水曜日（1-2月は水・木）
お問い合わせなどはこちらまで 担当：馬場